



平成30年 5月号
森川保育園

新年度がスタートして1ヶ月。新しい生活にも慣れてきたことと思います。
進級児たちは食べる量もおかわりの量も増えています。
新入園児も園生活に慣れ、笑顔で昼食を食べています。「おいしいね」「おかわり
ください」の声を聞くと、うれしくなりますね。



新緑の季節である5月5日は、こどもの日。青い空を、風でお腹いっぱい膨らませた
こいのぼりが泳ぎます。
行事や行事食には、それぞれいわれや意味があり、先人たちの願いや思いが込め
られています。親から子へ、子から孫へと、その思いを受け継いでいきたいですね。

こいのぼり

急な流れや大きな滝も跳ね
上がり、勢いよく泳ぐこいの
姿と重ね合わせ、たくましく
元気に育てとの願いが込め
られています。



菖蒲湯

邪気や災難除けの薬草
です。「菖蒲」と「尚武」で
「武」を尊び「勝負」にかけ
ており、立身出世の願
いが込められています。



柏餅

柏の葉は、邪気を払い
一家繁栄の願いが込め
られています。



味わうってどんなこと？

舌にある味蕾の味細胞に、味物質が触れて起こる
感覚を「味覚」といいます。味覚には、**甘味・塩味・
酸味・苦味・旨味**の五原味があります。

生後初めて接するのが、母乳(乳糖)の甘味です。
味覚の中でも甘味と旨味は、生まれながらにして
本能的に好む味だと言われています。

それに対して、他の味は学習して覚える味で、
味覚学習を必要とします。学習の条件によっては
「味付けの好み」や「好き嫌い(嗜好)」が生まれ、
生涯の健康を左右してしまいます。

離乳期や特に幼児期・児童期が最適な時期である
ことはいうまでもありません。まずは

- ★濃い味のものを控える。
- ★素材の持ち味を生かした、うす味の食事にする。
ことから始めましょう。

～1歳未満の乳児に はちみつを与えないでください～

昨年、都内において、はちみつの
摂取が原因と推定される
乳児ボツリヌス症による死亡事例
がありました。

乳児ボツリヌス症は1歳未満の
乳児に特有の疾病です。
予防のために1歳未満の乳児に、
はちみつを与えるのは避けてくだ
さい。

※黒糖、黒砂糖にもボツ
リヌス菌がいる可能性
がありますので、避けま
しょう。

